



## 第166回定期演奏会

甘美な情感をたたえる旋律

2019  
1/24(木) 18:00開場  
18:45開演  
10/1発売

指揮/レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)  
サクソフォン/須川展也

シャブリエ:狂詩曲「スペイン」  
ファジル・サイ:アルト・サクソフォンと  
管弦楽のための〈バラード〉  
須川展也委嘱作品/2016

イベール:アルト・サクソフォンと  
11の楽器のための室内小協奏曲  
ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ  
ドビュッシー:交響詩「海」

## 第167回定期演奏会

プラハの春 栄光あるわが祖国

2019  
3/15(金) 18:00開場  
18:45開演  
11/15発売

指揮/レオシュ・スワロフスキー  
(当団音楽監督)

スメタナ:連作交響詩「わが祖国」全6曲

- I. ヴィシェフラド(高い城)
- II. モルダウ
- III. シャールカ
- IV. ボヘミアの森と草原から
- V. ターボル
- VI. ブラニーク



1月23日(水)第166回定期演奏会プレイベント 入場無料  
会場/名古屋文理大学文化フォーラム 先着200名

●10:30~11:20「公開講座」小ホール  
●12:00~13:00「公開リハーサル」大ホール

公開講座...@FM「おはクラ・サタデー」でおなじみの山本雅士が定期演奏会で取り上げる楽曲や作曲者まつわるエピソードを紹介します。  
公開リハーサル...オーケストラが曲を作り上げていくリハーサルの一部を公開します。イヤホン付きFMラジオで館内FM放送によるリハーサル内容の  
実況解説をお聴きいただけます。(解説をお聴きになりたい場合はイヤホン付きFMラジオをご持参下さい)  
お問い合わせ/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 (稲沢市正明寺3丁目114)

## 愛知県芸術劇場コンサートホール

☎052-971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)

入場料 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円 学生席1,000円他  
※未就学児の入場不可 (座席指定の場合は各席半額)

### プレイガイド

- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999  
[1/24(Pコード103-013)] [3/15(Pコード103-015)]
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430

お問い合わせ・チケット取扱い セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

主催/一般社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社  
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・@FM  
協賛/名古屋市美術館

助成/文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

クラシック音楽聴くなら  
セントラル愛知交響楽団 検索  
http://www.caso.jp  
チケットはホームページからお申込み頂けます。

## 第166回、第167回定期演奏会 指揮



### レオシュ・スワロフスキー (当団音楽監督)

Leoš Svárovský

チェコ生まれ。プラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、プラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後、プラハ室内歌劇場、ヤナーチェク・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国民劇場バレエ管などの首席指揮者を歴任。また、2003～2005年にはプラハ国立歌劇場芸術監督及び首席指揮者を務めた。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演している。チェコ・フィルには定期的に客演している。また、スーク、オISTRAフ、リッチャレツリ、パターら名演奏家との共演を重ねている。プラハの春、プラハの秋、バイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。現在スロヴァキア・フィル常任客演指揮者、ブルノ・フィルハーモニー協会名誉会員、プラハ芸術アカデミー准教授を務めている。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルテウム管などの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。中でも2010年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」はサントリーホールを大喝采の渦に巻き込んだ。2014年4月、セントラル愛知響音楽監督に就任。2015年7月、スロヴァキア・フィルとの合同演奏によるマーラー「巨人」の成功は記憶に新しい。また2016年9月の当団定期第150回記念公演ではスロヴァキア国立歌劇場のソリストたちを招きドヴォルザークの「スターバト・マーテル」を演奏。聴衆の熱烈な反応をよんだ。

## 第166回定期演奏会 サクソフォン



### 須川展也

Nobuya Sugawa

日本が世界に誇るサクソフォン奏者。東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JT音楽家シリーズTVCM出演、02年NHK連続テレビ小説「さくら」のテーマを演奏。海外25ヶ国以上に招かれており、最近では2017年5月にアメリカ・メキシコ・コロンビアの南北アメリカ大陸縦断ツアーを敢行。非の打ちどころのないハイレベルな演奏と、唯一無二かつ最先端なレパートリーの両方が各地で熱狂的な支持を集め、「伝説的奏者」「サクソフォン・ヒーロー」「最も評価されるべきサクソフォン奏者の一人」等の評価を集めた。

名だたる作曲家への委嘱も積極的に行っており、須川によって委嘱・初演された多くの作品がクラシカル・サクソフォンの主要レパートリーとして国際的に広まっている。近年では坂本龍一「Fantasia」、チック・コリア「Florida to Tokyo」、ファジル・サイ「組曲」「サクソフォン協奏曲」などがある。

N響をはじめ日本のほとんどのオーケストラと共演、海外でもBBCフィル、フィルハーモニア管、ヴェルテンベルク・フィル、スロヴァキア・フィル、イーストマン・ウインド・アンサンブル、パリギヤルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団等と多数共演を重ねている。89-2010年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスターを務めた。14年にデビュー30周年を迎え、東京文化会館大ホールでの記念公演は完全完売の大盛況となった。これまでに約30枚のCDをリリース。最新CDは2016年10月発売の「マスターピースズ」。2014年には著書「サクソフォンは歌う!」を刊行。

トルヴェール・クワルテットのメンバー、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者、イヅカ☆プラスフェスティバル・ミュージックディレクター、静岡市清水文化会館マリナート音楽アドバイザー&マリナート・ウインズ音楽監督。東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。

使用楽器:ソプラノ・サクソフォン YSS-875EXG

アルト・サクソフォン YAS-875EXG (いずれもヤマハ株式会社)

公式サイト <http://www.sugawasax.com>

フェイスブックページ <https://www.facebook.com/NobuyaSugawa.saxophone>

スメタナ作曲「わが祖国」は、すべてのチェコ人指揮者にとって大きな課題であるとともに、大きな挑戦でもあります。私は、この連作交響詩をこれまでに50回くらい指揮しています。

この曲は、チェコ・ロマン主義音楽の頂点を極め、アントニン・ドヴォルザークの第九交響曲「新世界」と並ぶ名作です。

このスメタナの連作交響詩を、私はいつも暗譜で指揮します。セントラル愛知交響楽団音楽監督としての最後の定期演奏会で、スメタナの「わが祖国」を楽員と共に演奏し、お客様にお聴きいただける日が待ち遠しいです。

レオシュ・スワロフスキー

